



社会福祉法人 愛徳福祉会

# 大阪発達総合療育センター

Osaka Developmental Rehabilitation Center

保険医療機関 南大阪小児リハビリテーション病院

# 葦

大阪発達総合療育センター機関紙  
第29号 2018年春

## INDEX

・理事長挨拶 ……………1P	・看護部・療育部研究発表 ……………5P
・特集に寄せて ……………1P	・リレーエッセイ ……………5P
・新入職員紹介 ……………2P~4P	・イベントトピックス/ 職員研修実績状況 ……………6P
	寄付金と寄附物品

## ■特集に寄せて

社会福祉法人 愛徳福祉会 理事長

梶浦 一郎

大阪発達総合療育センター センター長

鈴木 恒彦



今年も新入職員を迎える季節となりました。日々、多面的リハビリテーション医療・ケアが求められる当センターにとっては、かけがえのない心強い新しい仲間が加わっていただいたことを心から歓迎し、今後の活躍を祈念するのみです。私どもも従来の仕様にこだわらず、新人の方が気持ち良く仕事に専念できる環境を心がけたいと思います。職場環境の大切な要素の一つに、日頃の実践をまとめて客観的評価や反省を行う研究発表や研修等がありますが、今回は看護部・療育部の研究発表、研修報告会について看護部の梶原綾さんがまとめてくれました。他部署からも同じような報告を随時期待いたします。

本葦29号から、職員の方々にリレーエッセイとして日頃感じていることや、主張、提言、詩や歌、・・・を載せる企画が始まりました。第1回として療育科の山口一平さんが御自身のお子さんの病気のことを書かれています。父親の優しいお気持ちがほのぼのと伝わってきます。



2018年度

## 看護部・療育部研究発表、 研修報告会

看護部療育部教育担当 研究発表担当

梶原 綾

平成30年2月27日に、看護部・療育部研究発表・研修報告会を開催しました。

今年度は、演題発表7題、伝達講義1題を実施し、50名の参加をいただきました。

発表は、それぞれの現場での取り組み、入所者様・利用者様・そのご家族との関わり、業務改善など、各部署の事業内容や特徴、課題などが見えるものでした。部署特有の内容ですが、どの部署にも通ずるところがあり、この機会に部署を越えて共有できたことは、本当に有意義であったと思います。

日頃、忙しい業務の合間を縫って、研究を形にすることは、本当に大変な作業です。しかし、研究発表を通して、他部署の取り組みや課題を知り、交流を持つことは、自分たちのケアを振り返



り、今後の質の向上に欠かせないことでもあります。何より、このような機会に他部署の顔が見えることは、多職種協働の第一歩であります。

今回発表をいただいた発表者・共同研究者の皆様、本当におつかれさまでした。また、時間外にもかかわらず、ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

今後も、研究が発表で終わらず、明日のケアに繋がるような価値あるものとなるよう、教育委員会一同、皆様へのサポートと努力をしていきたいと思ひます。



4人家族で田舎暮らしをしております。3年ほど前、休みの日になれば、家族でショッピングモールに買い物に行くのがお決まりでした。息子は歩くのが遅いなあ。はぐれて迷子になってしまうぐらいに感じていました。ある日、学校より電話があり息子は立つこともできないとのこと。妻が迎えに行き、そのまま病院に。病名は「ペルテス病」大腿骨の骨頭が壊死してしまう病気でした。この仕事をしていたのになぜ気づいてあげられなかったのかと悔やむ一方、この仕事をしていてよかったこの日の為にしてき



療育部 療育科

山口 一平

たんだとも考えました。治療の終盤は当センターに入院させていただき大変お世話になりました。この機会をお借りして皆様に感謝申し上げます。「ありがとうございました。」

息子の病気はまたいつ治療が必要になるのかわかりません。このセンターがあることが、私の家族の心を少しほっとさせてくれています。今日も私はいつも通り出勤し、同じように悩まれている人たちの心が少しでも休まるように仕事に励んでいます。これからもよろしくお願ひします。

# 職員研修実施状況

H30年1月～H30年3月

当センターでは、質の高いチーム医療の提供をめざして、様々な職員研修を行い、技術の向上と知識の蓄積を図っております。

実施日時	企画部署	研修名	講師	参加人数	場所
平成30年1月26日(金) 17:40～18:40	リハ部・看護部	痛みが出る前に介護者の身体の使い方を見直そう	佐藤邦洋科長補佐(PT)、出口奈和副主任(PT)、曲洋子副主任(PT)、禰奈津美(保育士)、益子由美(看護師)	52名	PT室
平成30年1月30日(火) 17:40～18:40	教育研修部	「モンテッソーリアクティビティからはじまる4階で見つけたHappy Cycle」	医務部小児科 羽多野わか 看護部わかば病棟 西本博美 4階スタッフ、リハビリテーション部、栄養科	93名	5階ホール
平成30年2月14日(水) 17:40～18:40	教育研修部	「重症心身障がい児・者の方々への介護を考える 一鏡の向こう側にいるあなたとー」	堺市立重症心身障害者(児)支援センター ベルデさかい リハビリテーション部長 岸本眞氏	87名	5階ホール
平成30年2月3日(土) 9:00～18:00	運営局・教育研修部	「中堅職員研修」	株式会社インソース 大坪浩民氏	27名	5階ホール
平成30年2月23日(金) 17:40～18:40	リハ部・看護部	重症児の床からのトランスファー パートII	赤瀬裕子(保育士)、諏訪恵子(看護師)、三宅いづ子(看護師) 米持喬科長補佐(OT)	31名	PT室
平成30年3月5日(月)～9日(金) 9:00～17:30	教育研修部	関西医科大学医学部学生地域医療実習	船戸副センター長、飯島医長他	関西医科大学 医学部1年生 4名	病棟他
平成30年3月17日(土) 9:00～17:00	運営局・教育研修部	「管理職研修(4回目)」	株式会社インソース 青木朋博氏	23名	あべのハルカス 会議室
平成30年3月29日(木) 17:40～18:40	運営局・事務部	平成30年度診療報酬及び障害福祉サービス費改定説明会	梶浦正運営局長	108名	5階ホール

## イベントトピックス



### 入職式

4月2日月曜日に、平成30年度入職式が執り行われました。  
4月より新たに、26名の新入職員が入職されました。



## 感謝

大阪発達総合療育センターへの御理解・御協力誠にありがとうございます

### 一般寄付金

月	寄付者(敬称略)	
1月分	ダイセル労働組合本社支部 匿名1件	本園
2月分	2月分楽基金 2件	
3月分	井上 明生 3月分楽基金 4件	

### 寄付物品

月	寄付者(敬称略)	物品名
1月分	杉山 恵美子	車イス
	菊池 憲一	カテテル用シリンジ他
3月分	匿名	おもちゃ(アンパンマン)
	匿名	おもむつ
	匿名	本 数冊 おもちゃ(アンパンマン)



## 大阪発達総合療育センター

URL : <http://osaka-drc.jp>

南大阪小児リハビリテーション病院(保険医療機関)  
フェニックス(医療型障がい児入所施設・療養介護事業・短期入所事業)  
主として重症心身障がい児者  
わかば(医療型障がい児入所施設・短期入所事業)主として肢体不自由児  
ふたば(児童発達支援センター・保育所等訪問支援事業)主として肢体不自由児  
いぶき(特定相談支援事業・障がい児相談支援事業)  
なでこ(生活介護事業・児童発達支援事業)

〒546-0035 東住吉区山坂5-11-21  
TEL:06-6699-8731 FAX:06-6699-8134

発行者・社会福祉法人 愛徳福祉会  
発行責任者・梶浦一郎

訪問看護ステーション めぐみ(指定訪問看護事業)  
TEL:06-6699-8855 FAX:06-6699-8856  
ヘルパーステーション めぐみ(指定訪問看護事業)  
TEL:06-7506-9223 FAX:06-6699-8856  
〒546-0035 東住吉区山坂5-9-16

大阪発達総合療育センター あさしお診療所(保険医療機関)  
あさしお園(児童発達支援センター・保育所等訪問支援事業・障がい児相談支援事業)主として肢体不自由児  
ゆうなぎ園(児童発達支援センター・保育所等訪問支援事業・障がい児相談支援事業)主として難聴児

〒552-0004 港区夕風2-5-3  
TEL:06-6574-2521 FAX:06-6574-2524